

令和4年度 明和中学校 学校運営計画書(スクールプラン)

校長名 古谷友宏 作成日 令和4年4月28日現在

和歌山市学校教育指針

- 確かな学力の育成。
- 道徳教育の充実。
- 健やかな体の育成。
- 特別支援教育の推進。
- 不登校・いじめ問題の解消。
- こどもの安全確保の徹底。
- 地域とともにある学校づくりの推進。

保護者・地域の願い

- 明るく楽しい学校にしてほしい。
- 心の教育を大切にしてほしい。
- 授業を大切に、子供の学力をあげるようにしてほしい。

【学校教育目標】

人間尊重の精神を基本にして、知・徳・体の調和のある生徒の育成

【めざす生徒像】

- 自分と仲間を大切に、共によりよく生きていく生徒。
- 自ら学び、自己実現に努力する生徒。
- より広い世界を視野に入れ、伝統と文化を含めた社会に貢献できる生徒。

前年度の学校評価

- 学校に行くのは楽しいと答える生徒は多い。
- 仕事をもっている保護が多いため学校行事等の日程を早めに案内する必要がある。
- 学力向上に向け、学校環境を成り立たせた基本的な学力を向上させる必要がある。

生徒の実態

- 学校生活に満足している生徒は多い。
- 授業に集中できない生徒がある。
- 家庭学習の定着に差がある。
- 多くの生徒が部活動に熱心。

重点目標

確かな学力の向上

- ◎基礎・基本の確かな定着。
- 学び合いの授業づくりの推進。
- 読書活動の推進。

豊かな心の育成

- ◎道徳教育の充実。
- 学級づくりを通し、自分と仲間を大切に、よりよく生きていく力の育成。

健やかな体の育成

- ◎体力向上の推進。
- 健康安全教育の充実。
- 基本的生活習慣の確立。

地域とともにある学校

- ◎家庭・地域との連携の充実。
- ◎中学校区における小学校と連携の推進。

具体的な取組

- ◎各教科担任が「自ら学び、高め合う生徒の育成」をテーマに校内研修実施を行う。
- ◎「和歌山の授業づくり基礎・基本3か条」の徹底を行う。
- ◎ICT機器の活用。
- 朝読・朝学の継続。

- ◎道徳教育充実の授業形態・内容など実際の授業改善に向けての取り組みを進める。
- ◎いじめアンケート・教育相談を年間複数回実施。
- 学校行事等での目標及び指導方法を明確にする。

- ◎基本的生活習慣の確立と体力の向上を目指す。
- ◎感染症防止の学習や取組を進める。
- 養護教諭を中心に健康安全教育の充実を図る。
- 避難訓練・交通安全指導の充実を図る。

- ◎学校運営協議会の開催。
- ◎学年通信やホームページなどで学校の様子など発信する。
- 学校開放月間の充実を図るとともに、より効果的な学校開放の在り方を検討する。
- 学校評価の取り組みを有効に活かすことで、保護者・地域・学校の信頼関係を深める。

指標

- ・県学力到達度調査で基本問題の正解数が県平均を上回る。
- ・学校評価アンケートでの「授業が楽しい」「授業内容がよくわかる」が90%に。

- ・学校評価アンケートの『私は、思いやりや優しさの気持ちを大切にしている』という項目が95%という値である。意識としては、大切さをはっきり押さえている。

- ・朝ごはんを食べる子どもの割合95%を目指す。
- ・体力テスト結果を和歌山県の平均以上に。

- ・学校評価アンケートでの『家庭・地域との協力』が90%に。

◎：特に重点的に取り組むこと